

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670010Q1	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(教育相談)		
編集担当教員	内野 成美		
授業担当教員名(科目責任者)	内野 成美		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	内野 成美		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）	2年		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	教育学部		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後に講義室で受付ける		
授業のねらい			
授業方法（学習指導法）			
授業到達目標	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業内容	第1回 教育相談の意義について学ぶ 第2回 教育相談と生徒指導の領域について学ぶ 第3回 児童生徒理解の領域について学ぶ 第4回 児童生徒理解の方法について学ぶ 第5回 カウンセリングの基本技法について学ぶ 第6回 カウンセリングの基本技法を体験する 第7回 不登校児童生徒への理解について学ぶ 第8回 不登校児童生徒への対応について学ぶ 第9回 発達障害の児童生徒への理解について学ぶ 第10回 発達障害の児童生徒への対応について学ぶ 第11回 いじめ問題について学ぶ 第12回 学級崩壊の問題について学ぶ 第13回 危機介入について学ぶ 第14回 学級集団への援助の方法について学ぶ 第15回 学級集団への援助の方法を体験する 第16回 授業の総括（まとめ、試験を含む）		
キーワード	教育相談・生徒理解・カウンセリング・危機介入・いじめ		
教科書・教材・参考書	参考書：『学校教育相談心理学』中山 巖 編著 北大路書房、『教育相談の理論と実際』河村 茂雄編著 図書文化		

成績評価の方法・基準等	定期試験（30％）小レポート（30％）授業への参加度・貢献度（40％）合計60％以上を合格とする。
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	教育相談の意義、生徒指導者としての役割、教育相談の過程、児童生徒理解の領域、児童生徒理解の方法、教育相談者としての留意点、カウンセリングの方法などの知識や理解を深め、相談技法を身につける。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	受講要件(履修条件)：心理学に興味・関心のある学生を求める。



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670010Q2	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(教育相談)		
編集担当教員	谷口 弘一		
授業担当教員名(科目責任者)	谷口 弘一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	谷口 弘一		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	taniguti@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部215番研究室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週金曜日15:00～16:00		
授業のねらい	カウンセリングとソーシャルサポートを有機的に結びつけ、効果的な援助を提供する方法について理解すること。		
授業方法（学習指導法）	講義・実習形式（視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用）		
授業到達目標	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようになる。		
授業内容	授業内容（概要） 心理的な悩みや困難を抱えた人に対する援助には、カウンセラーなど専門家によるサポートと親密な他者など非専門家によるサポートの二つが存在する。本講義では、カウンセリングとソーシャルサポートの理論、学校・家庭場面におけるカウンセリングとサポートの実践、カウンセリングとサポートの効果を抑制する要因などについて解説する。		
	回	内容	
	1	10月4日 オリエンテーション	
	2	10月11日 カウンセリングとソーシャルサポート：地域実践心理学の観点から	
	3	10月18日 ソーシャルサポートとは何か(1)：背景・歴史	
	4	10月25日 ソーシャルサポートとは何か(2)：概念的定義・測定・効果	
	5	11月1日 ソーシャルサポートと発達(1)：量・効果・互恵性	
	6	11月8日 ソーシャルサポートと発達(2)：規定因・臨床教育的介入	
	7	11月15日 サポート関係の構築(1)：対人スキルズトレーニング実習(1)	
	8	11月29日 サポート関係の構築(2)：対人スキルズトレーニング実習(2)	

	9	12月6日 サポート関係の構築(3)：対人関係に関連した心理尺度の実施・解釈・討論
	10	12月13日 家族からのソーシャルサポート
	11	12月20日 教師からのソーシャルサポート(1)：学校におけるサポート
	12	12月27日 教師からのソーシャルサポート(2)：援助不安・被援助志向性
	13	1月10日 人はなぜカウンセリングを受けたがらないか(1)
	14	1月23日 人はなぜカウンセリングを受けたがらないか(2)
	15	1月24日 まとめ
	16	1月31日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	カウンセリングとソーシャルサポート―つながり支えあう心理学― ナカニシヤ出版	
成績評価の方法・基準等	期末試験50% 討論・実習への貢献25% 課題レポート25% この他に、授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670010Q3	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(ライフサイクルとメンタルヘルス)		
編集担当教員	小澤 寛樹		
授業担当教員名(科目責任者)	小澤 寛樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小澤 寛樹,今村 明,黒滝 直弘,木下 裕久		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-11		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	医学部精神科神経科		
担当教員TEL	095-819-7291		
担当教員オフィスアワー	月水木12～13時		
授業のねらい	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまづきちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらう事を目標としたい。		
授業方法（学習指導法）	講義プレゼンテーション資料の配布、必要に応じて映像資料をもとに展開する。各回終了毎に、講義内容に基づく出題課題への議論をもとにレポートを提出してもらい、自己の意見を練り上げる過程で理解を深める。		
授業到達目標	毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学を（必要であれば人文科学・社会科学の知識も）通して、自分での確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能なようになる事を通じて、社会に貢献できる「新しい人、（大江健三郎）になるためのメンタル・リテラシーを身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	(4/9) 「生きにくいと感じる貴方へ～コミュニケーションとは何か」	
	2	(4/16) 「私は男、それとも女？～ジェンダーを捉える視角」	
	3	(4/23) 「小さい時に受けた心の傷の話～PTSDを癒すために」	
	4	(4/30) 「統合失調症の実際」	
	5	(5/7) 「人が死を選ぶ時～尊厳死を考える」	
	6	(5/14) 「精神科医は気軽な存在～メンタルクリニック入門」	
	7	(5/21) 「親がボケた時、あなたはどうしますか～認知症の基礎知識」	
	8	(5/28) 「上手なお酒との付き合い方～依存症って怖い」	
	9	(6/4) 「誰かが君に恋してる～恋愛現象の脳科学」	

	10	(6/11) 「こだわりって病気なの?～強迫性障害を考える」
	11	(6/18) 「子供が普通とは違う苦悩～発達障害について」
	12	(6/25) 「アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話」
	13	(7/2) 「私達の持つ記憶の本体とは何なのか?」
	14	(7/9) 「自己チューな人たち～人格障害を考える」
	15	(7/30) 「まとめ」
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	「シネマサイキアトリー～映画からみる精神医学」(小澤寛樹監訳、中外医学社) 「標準精神医学・第5版」(野村総一郎他編、医学書院)	
成績評価の方法・基準等	講義後に提出するレポート：50% 講義中のディスカッションへの参加態度(意欲点)：50%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670010Q4	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(仕事と健康)		
編集担当教員	楠葉 洋子		
授業担当教員名(科目責任者)	楠葉 洋子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楠葉 洋子,中根 秀之,黒田 裕美		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kusubay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科2階		
担当教員TEL	095-819-7936		
担当教員オフィスアワー	適宜（事前にメールなどで連絡をすること）		
授業のねらい	仕事は人間に報酬や達成感等の喜びをもたらすが、健康問題にも関連している。メンタルヘルスの危機や生活習慣病などの仕事に関わる健康問題について理解する。		
授業方法（学習指導法）	講義、演習（個人学習・グループ学習）、学習内容の発表、討論などをまじえながら学習を進める。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 壮年期の特徴について述べるができる。 2. 仕事をするこのの意味について考えることができる。 3. 雇用環境・労働環境について述べるができる。 4. 仕事と生活習慣病の因果関係について述べるができる。 5. メンタルヘルスのあり方について考えることができる。 6. 病気をもちながら仕事を継続している人々のセルフマネジメントについて述べるができる。 7. 働く人々の健康の実態を知り、仕事をする上での望ましい健康術について考えることができる。 		
授業内容	回	内容	
	1	授業ガイダンス、労働人口の特徴（楠葉）	
	2	仕事を持ち働くこのの意味を考える（楠葉）	
	3	雇用環境・労働環境の実態（1）（楠葉）	
	4	雇用環境・労働環境の実態（2）（楠葉）	
	5	雇用環境・労働環境の実態（3）（楠葉）	
	6	仕事と生活習慣病：糖尿病（黒田）	
	7	仕事と生活習慣病：虚血性心疾患（黒田）	
	8	VDT作業と健康（黒田）	

	9	仕事とメンタルヘルス（１）（中根）
	10	仕事とメンタルヘルス（２）（中根）
	11	病気をもちながら仕事を継続するためのセルフマネジメント（楠葉）
	12	働く人々の健康の実態と労働衛生（１）（楠葉）
	13	働く人々の健康の実態と労働衛生（２）（楠葉）
	14	働く人々の健康の実態と労働衛生（３）（ゲストスピーカー：長岡）
	15	働く人々の健康術：サラリーマンの健康術について考える（楠葉）
	16	まとめ
キーワード	仕事、壮年期、労働環境、生活習慣病、メンタルヘルス、セルフマネジメント、労働衛生	
教科書・教材・参考書	配布資料、参考書などについては適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	授業への貢献度、レポート等を基に総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670010Q5	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(教育相談)		
編集担当教員	田山 淳		
授業担当教員名(科目責任者)	田山 淳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田山 淳		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業方法（学習指導法）	講義形式（一部実習形式）		
授業到達目標	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法（1） 6. 心の問題を明らかにする方法（2） 7. 来談者中心カウンセリングについて（1） 8. 来談者中心カウンセリングについて（2） 9. 行動療法・行動カウンセリングについて（1） 10. 行動療法・行動カウンセリングについて（2） 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト 		
キーワード	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談－やわらかアカデミズム・わかるシリーズ－：春日井 敏之（編集）、伊		

教科書・教材・参考書	藤 美奈子 (編集)、ミネルヴァ書房、2011 <ul style="list-style-type: none"> ・図で理解する生徒指導・教育相談：佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識：大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法：「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談－教師教育テキストシリーズ－：広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際－よりよい教育実践をめざして：河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門－こころの科学叢書－：高野久美子、日本評論社、2012
成績評価の方法・基準等	1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30%
受講要件 (履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	本講義では、教育相談とは何か、その有効性や理論・技法などを学習する。
備考 (URL)	
備考 (準備学習等)	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670010Q6	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(教育相談)		
編集担当教員	田山 淳		
授業担当教員名(科目責任者)	田山 淳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田山 淳		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業方法（学習指導法）	講義形式（一部実習形式）		
授業到達目標	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法（1） 6. 心の問題を明らかにする方法（2） 7. 来談者中心カウンセリングについて（1） 8. 来談者中心カウンセリングについて（2） 9. 行動療法・行動カウンセリングについて（1） 10. 行動療法・行動カウンセリングについて（2） 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト 		
キーワード	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談－やわらかアカデミズム・わかるシリーズ－：春日井 敏之（編集）、伊		

教科書・教材・参考書	藤 美奈子 (編集)、ミネルヴァ書房、2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談：佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識：大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法：「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談－教師教育テキストシリーズ－：広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際－よりよい教育実践をめざして：河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門－こころの科学叢書－：高野久美子、日本評論社、2012
成績評価の方法・基準等	1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30%
受講要件 (履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	本講義では、教育相談とは何か、その有効性や理論・技法などを学習する。
備考 (URL)	
備考 (準備学習等)	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670030Q1	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(エイズと性感染症)		
編集担当教員	西田 教行		
授業担当教員名(科目責任者)	西田 教行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西田 教行		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	noribaci@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	感染分子解析学		
担当教員TEL	095-819-7059		
担当教員オフィスアワー	木曜午後5時以降		
授業のねらい	ウイルス学と細菌についての基本を学び、HIV感染・エイズについての諸問題を考える。また他の性感染症の実態と対策について学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	アクティブラーニングを中心に行う。テーマについて各自情報を集取し、分析、発表を行う。グループ学習を行う。講義時間は主にディスカッションの時間とする。		
授業到達目標	情報を集取できる 情報の信頼性を吟味できる 情報をもとに論理的考察ができる 異なるアプローチを理解できる 異なる意見、考え方を理解し議論できる		
授業内容	回	内容	
	1	講義オリエンテーション、概要説明、グループ分け、サブテーマ決め	
	2	HIVグループ発表準備、グループディスカッション	
	3	HIVグループ発表（1）、ディスカッション	
	4	HIVグループ発表（2）、ディスカッション	
	5	全体討論、ミニテスト	
	6	HIVグループ発表（3）、ディスカッション	
	7	講義：他の性感染症の概要	
	8	性感染症グループ発表（1）、ディスカッション	
9	性感染症グループ発表（2）、ディスカッション		

	10	性感染症グループ発表（3）、ディスカッション
	11	性感染症グループ発表（4）、ディスカッション
	12	レポート作成準備
	13	レポート作成指導
	14	レポート作成指導
	15	最終個人発表会（1）
	16	最終個人発表会（2）
キーワード	エイズ、HIV、性感染症	
教科書・教材・参考書	参考図書（推薦本） 薬害エイズ「無罪判決」、どうしてですか？：桜井よしこ他 エイズを知る：エイズ&ソサエティ研究会議 感染症は世界史を動かす：岡田晴恵 エイズ[ウイルスの起源と進化]：山本太郎訳、Jaap Goudsmit 著 エマージングウイルスの世紀：山内一也 血液の歴史：ダグラス・スター著、山下篤子訳	
成績評価の方法・基準等	レポート60点 発表30点 ミニテスト10点 尚、詳細は変更することがある	
受講要件（履修条件）	先進医学と現在社会モジュールⅠに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。	
本科目の位置づけ	現代教養人としての知識の習得と思考能力を養う	
学習・教育目標	信頼性高い情報を取捨選択し、自分で考え判断する能力を養い、意見の異なる他の人とのコミュニケーション能力を養う	
備考（URL）	http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/mmi/cmb/index.html	
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670030Q2	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(免疫と病気)		
編集担当教員	由井 克之		
授業担当教員名(科目責任者)	由井 克之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	由井 克之, 本間 季里, 阿比留 教生, 一瀬 邦弘		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	katsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬学総合研究科・感染免疫学講座・免疫機能制御学分野		
担当教員TEL	819-7070		
担当教員オフィスアワー	12-13時		
授業のねらい	社会人として生活していく上で必要な医学的な知識を身につけること。特に感染から体を守る免疫系と、その異常による病的側面を中心に体の不思議な仕組みについて学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	講義形式を主体とする。適宜課題を出し、学生の授業への積極的な参加を促す。身近な問題から始めて、免疫学の基本が理解できるように進める。		
授業到達目標	感染等異物から体を守る免疫系の基本的な仕組みについて説明できる。 免疫系の異常による病気について、その種類と原因の概要を説明できる。		
授業内容	回	内容	
	1	導入、 ワクチンは何故効くのか？抗体、免疫記憶（担当：由井）	
	2	インフルエンザに毎年罹患するのは何故か？免疫エスケープ（担当：由井）	
	3	移植臓器は何故拒絶されるのか？MHCの発見（担当：由井）	
	4	移植臓器は何故拒絶されるのか？免疫寛容（担当：由井）	
	5	癌に免疫は効くのか？自己と非自己（担当：本間）	
	6	癌に免疫は効くのか？細胞性免疫（担当：本間）	
	7	花粉症になる人とならない人がいるのは何故か？アレルギーⅠ（担当：本間）	
	8	花粉症になる人とならない人がいるのは何故か？アレルギーⅡ（担当：本間）	
	9	免疫が機能しないとどうなるか？先天性免疫不全（担当：本間）	
	10	免疫が機能しないとどうなるか？後天性免疫不全（担当：本間）	
	11	免疫が自分を攻撃する病気とは？（担当：一瀬）	
	12	生活習慣病ではない糖尿病、免疫で起こる糖尿病とは？（担当：阿比留）	

	13	免疫病にはどのような治療法があるのか？（担当：一瀬・岩本）
	14	免疫と神経・筋疾患（担当：阿比留・中嶋）
	15	総まとめ（担当：由井）
	16	予備
キーワード	抗体、白血球、感染	
教科書・教材・参考書	小安重夫著「免疫学はやっぱりおもしろい」羊土社2008年	
成績評価の方法・基準等	筆記試験（60％）。 授業中に行う課題レポート及び小テスト（40％）。	
受講要件（履修条件）	先進医学と現在社会モジュールⅠに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。	
本科目の位置づけ	一般教養としての医学知識	
学習・教育目標	健康な社会生活を送る上で必要な基本的な医学知識を理解し身につけること。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670030Q3	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(薬との賢い付き合い方)		
編集担当教員	西田 孝洋		
授業担当教員名(科目責任者)	西田 孝洋		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西田 孝洋, 麓 伸太郎		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	特になし		
担当教員Eメールアドレス	koyo-n@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	薬学部4階 薬剤学研究室		
担当教員TEL	095-819-2453		
担当教員オフィスアワー	月～金曜日 13:00-19:00（WebClassで予定を確認すること）、メールでも対応		
授業のねらい	薬の消費者として薬と賢く付き合うためには、薬に関する理解を深めることが必要である。本講義では、薬が効くしくみと薬の体内における動き（体内動態）の基礎を理解し、代表的な疾患に対する薬物治療と薬の影の部分（副作用など）について学ぶことをねらいとする。		
授業方法（学習指導法）	教科書や参考書の内容に沿って講義する。通常は、PowerPointを用いたプレゼンテーション形式で授業を進めるが、ビデオ等も用いて理解を深める。		
授業到達目標	薬に関する正しい知識を理解し、説明できるようにする。		
授業内容	薬が効くしくみや薬の体内での動きの基礎を理解し、また、薬の影の部分（副作用）を知る事は、一消費者としても、薬と賢くつきあうためばかりではなく、生体の機能を知り、生命現象の理解を深める事にもつながる。ここでは、精神に作用する薬も含め、幾つかの薬を例に取り、演習等も交えて、薬との賢く付き合うための生命科学を学ぶ。		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	からだのしくみ：マクロからマイクロへ	
	3	薬が効くしくみ：酵素と受容体、作用薬と拮抗薬	
	4	薬物の消化管からの吸収：消化管の機能、膜透過	
	5	薬物の消化管以外からの吸収：クスリの投与部位、各種機能性製剤	
	6	薬物の体内分布：血液循環、血液成分、タンパク結合	
	7	薬物代謝：肝臓の機能、酵素反応、アルコールの代謝	
	8	薬物の排泄：腎臓の機能、尿・胆汁の生成、半減期	
	9	薬の宅配便：製剤学・DDS（Drug Delivery System, 薬物送達システム）入門	
10	病と薬（1）：感染症と免疫システム		

	11	病と薬（２）：生活習慣病
	12	病と薬（３）：癌と疼痛コントロール
	13	病と薬（４）：こころの病
	14	薬の影：副作用、薬物相互作用、薬害
	15	薬との賢い付き合い方：総論・薬物治療の未来像
	16	
キーワード	薬の効果、薬の動き、副作用、生体の機能、病気、生活習慣病薬、麻薬、向精神薬	
教科書・教材・参考書	教科書：くすりの作用と効くしくみ事典（永岡書店） 参考書：図解雑学 薬のしくみ（ナツメ社）	
成績評価の方法・基準等	考査（60%）、授業に対する積極的な取り組み状況（40%）	
受講要件（履修条件）	特になし。	
本科目の位置づけ	一般教育。	
学習・教育目標	薬に関する正しい知識を理解し、説明できるようにする。	
備考（URL）	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/indexj.html	
備考（準備学習等）	教科書や参考書を熟読すること。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670030Q4	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(男と女の脳科学)		
編集担当教員	篠原 一之		
授業担当教員名(科目責任者)	篠原 一之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	篠原 一之, 土居 裕和, 西谷 正太, 木原 敏晴		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	doi-h@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	長崎大学医学部第二生理学教室		
担当教員TEL	095-819-7035		
担当教員オフィスアワー	16時30～17時30分		
授業のねらい	男女の脳の働き、発達、疾患や、脳の研究方法について学習することで、脳の性差についての科学的理解を深める。		
授業方法（学習指導法）			
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義・体験実習を通じて、性差の科学についての基礎知識を身につけると同時に、ヒト脳機能の研究手法について理解を深める。 2. 必要な情報を、書籍・学術誌・データベースから正しく検索できる能力を身につける。 3. 学術的知見や、それに対する意見を論理的にプレゼンテーションする能力を身につける。 		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス：学習目標と方法 2 行動の性差 3 男性の脳と女性の脳 4 フェロモンの働き 5 恋愛の脳科学 6 母性・父性の脳科学 7 脳科学・行動実験体験（1） 8 脳科学・行動実験体験（2） 9 グループ学習：脳の性差は先天的か後天的か（1） 10 グループ学習：脳の性差は先天的か後天的か（2） 11 脳科学から見た同性愛・性同一性障害 12 インターセックス（半陰陽）の科学 13 性的マイノリティと社会（1） 14 性的マイノリティと社会（2） 15 グループ学習成果発表・全体討論 		
キーワード	脳、性分化、母性、フェロモン		

教科書・教材・参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 性同一性障害の基礎と臨床 山内俊雄（編著）新興医学出版社 2. 人にフェロモンはあるのだろうか？-ヒトケミカルコミュニケーションの生理学（香り選書16） 柏柳誠（著）フレグランスジャーナル社 3. The Mommy Brain: How Motherhood Makes Us Smarter Katherine Ellison（著）Basic Books; New 4. Milk (2008) Director: Gus Van Sant, Distributed byFocus Features. 5. Boys don't cry (1999) Director: Kimberly Peirce, Distributed by Fox Search Light
成績評価の方法・基準等	授業への参加点 20 発表点 30 課題レポート点 30 期末試験 20
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670030Q5	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(食の科学)		
編集担当教員	齋藤 俊行		
授業担当教員名(科目責任者)	齋藤 俊行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	齋藤 俊行,北村 雅保,宮崎 敏博,久松 徳子		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	syto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	歯学部 口腔保健学		
担当教員TEL	095-819-7662		
担当教員オフィスアワー	水曜日17-18時		
授業のねらい	<p>食べることは生きる事そのものである。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入りにくである。食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深める。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>講義、セミナー以外に、テーマを自分で考えあるいは与えられ、それについて調べてプレゼンテーションとディスカッションを行なう。受講人数によって方法は異なってきます。</p>		
授業到達目標	<p>食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。</p>		
	<p>食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について、また栄養学、予防医学について。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 口腔咽頭の解剖学1～4（宮崎） 2) 口腔咽頭の機能1～4（久松） 3) 食と健康1～4（北村） 4) 口腔と肥満1～3（齋藤） <p>参考歯学部ホームページ 【口腔保健学：齋藤，北村】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_oh.html 【細胞生物学：宮崎】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_cb.html 【特殊歯科総合治療部：久松】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_gcscd.html</p>		
	回	内容	
	1	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学1 9/30 食に関連する人体の構造概論	
	2	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学2 10/7 咀嚼と嚥下に関わる構造	
	3	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学3	

授業内容		10/21 歯と唾液腺の構造	
	4	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学4 10/28 味覚と嗅覚に関わる構造	
	5	久松徳子：口腔咽頭の機能1 11/11 嚥下って何？	
	6	久松徳子：口腔咽頭の機能2 11/18 嚥下が悪くなると何が問題？	
	7	久松徳子：口腔咽頭の機能3 11/25 嚥下機能はどうしたら保てる？悪くなったらどうしたらいい？	
	8	久松徳子：口腔咽頭の機能4 12/2 嚥下食って何？	
	9	北村雅保：食と健康1 12/9 食品の機能性～食べる者と食べられる物	
	10	北村雅保：食と健康2 12/16 日本人の食事摂取基準と保健機能食品制度	
	11	北村雅保：食と健康3 1/6 特定保健用食品各論～むし歯と食品	
	12	北村雅保：食と健康4 1/20 特定保健用食品各論～生体調節機能	
	13	齋藤俊行：口腔と肥満1 1/21 口腔疾患とその予防（この日のみ振替で火曜日）	
	14	齋藤俊行：口腔と肥満2 1/27 口腔と生活習慣病	
	15	齋藤俊行：口腔と肥満3 2/3 食と肥満	
	16	予備	
	キーワード	口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学	
	教科書・教材・参考書	特にありませんが資料配布を行いません。	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションやレポートの提出および試験を考えてますが、受講者数によります。		
受講要件（履修条件）	特になし。		
本科目の位置づけ	医歯薬学系以外の学部生の教養教育		
学習・教育目標	アクティブラーニングの実践		
備考（URL）	http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/index_j.html		
備考（準備学習等）			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670050Q1	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(話題の先進医学)		
編集担当教員	工藤 崇		
授業担当教員名(科目責任者)	工藤 崇		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	工藤 崇		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬 原爆後障害医療研究施設 原研放射		
担当教員TEL	095-819-7101		
担当教員オフィスアワー	16:00-17:00		
授業のねらい	先進的医学としてどのようなものが行われているかを知るとともに、先進医学が工学、数学、理学などの他学問との密接な関係で成り立っていることを知り、応用発展を考える。なお、本授業でいう「先進医学」とは法的に定義された用語としての「先進医療」ではなく、進んだ医療・先端的な医療・医学という意味です。		
授業方法（学習指導法）	様々な医学の技術、診断、治療法を講義を通して知る。それとともに、それらの医療技術のためには医学・生物学以外にどのような領域の知識が必要とされるかを自習・発表・討論を通して考察する		
授業到達目標	医療における医学・生物学とそれ以外の学問領域との関連を理解する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	診断学と放射線	
	3	X線を用いた画像診断	
	4	X線を用いない画像診断(MRI)	
	5	放射性同位元素を用いた診断	
	6	統計学と画像	
	7	放射線と治療	
	8	グループ学習：物理学と医療	
	9	歯学・歯科理工学を学ぶ前に必要な知識	
	10	歯学と材料工学	
11	感覚器先進医学を学ぶ前に必要な知識		

	12	耳鼻科先進医学と工学
	13	眼科の先進医学と光学
	14	グループ学習：医学以外の学問を医学に応用するには
	15	グループ学習発表
	16	
キーワード	先進医学、先進医療、医学、統計学、工学、数学	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は必要としない。適宜、プリント・資料を配付する。	
成績評価の方法・基準等	2/3以上の出席。グループ学習、発表、討論は全出席。試験で60点以上。	
受講要件（履修条件）	原則として、全回出席。予習を十分に行い、討論の時間には積極的な発言が望まれる。	
本科目の位置づけ	医学・生物学と、他領域の学問の連関を理解する。	
学習・教育目標	医学以外を専門とする学生が対象である。各々の専門とする領域が医学に対してどのような関わりを持つことができるか、学問間の連携について多様な発想ができ、創造的に考えることができるようになる。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	時々、新聞記事、ネットなどを用いて先進的な医学についての予習を要求します。また、得られた知識を用いてどのような新たな先進医学が可能であるか、考え発表してもらいます。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4														
開講期間																	
必修選択	選択	単位数	2.0														
時間割コード	201305670050Q2	科目番号	05670050														
授業科目名	●生命の科学(伝承薬から最先端医薬品まで)																
編集担当教員	畑山 範																
授業担当教員名(科目責任者)	畑山 範																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	畑山 範,石原 淳,高橋 圭介																
科目分類	人間科学科目																
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目														
教室	[教養A棟]A-11																
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者																
担当教員Eメールアドレス	畑山;susumi@nagasaki-u.ac.jp, 石原:jishi@, 高橋:kei-t@																
担当教員研究室	薬学部 薬品製造化学研究室																
担当教員TEL	819-2426																
担当教員オフィスアワー	月-金 15:00-18:00																
授業のねらい	我々の身の回りにある医薬品は化学物質で構成されている。化学物質は原子から出来ており、医薬品の作用機構など生命現象の多くは化学の言葉で語ることが可能である。高校の受験科目としての化学ではなく、生きた化学を理解し、医薬品の化学を通して化学を面白く感じるようになることが授業の狙いである。																
授業方法（学習指導法）	医薬品をテーマにして化学の視点から調査研究を行う。各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画についてディスカッションし、その検討結果を発表する。各グループ別に、報告をパワーポイントを用いた発表形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポートを作成し、提出する。																
授業到達目標	<p>人類の病気との戦いの歴史は、医薬品創製の歴史でもある。経験的に見出された伝承薬、天然物から発見された医薬品、そしてコンピューターによってデザインされた医薬品など、様々な医薬品はどのようにして合成し供給されるのか。幾つかの医薬品を例にとり、化学が医薬品開発に果たしてきた役割を学ぶ。</p> <p>抗生物質、抗ウイルス剤、ビタミン、その他の身の回りにある医薬品について、PBL方式で自ら学ぶ。 なお、第1回～5回は石原、第6回～10回は高橋、第11回～15回は畑山が担当する。第16回目にレポートを提出および総括を行う予定。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>テーマの提示とグループ分け（1）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>グループ内での調査（1）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>進捗状況の報告と意見交換（1）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>グループ内での調査（1）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>グループプレゼンテーション、全体討論（1）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>テーマの提示とグループ分け（2）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	テーマの提示とグループ分け（1）	2	グループ内での調査（1）	3	進捗状況の報告と意見交換（1）	4	グループ内での調査（1）	5	グループプレゼンテーション、全体討論（1）	6	テーマの提示とグループ分け（2）
回	内容																
1	テーマの提示とグループ分け（1）																
2	グループ内での調査（1）																
3	進捗状況の報告と意見交換（1）																
4	グループ内での調査（1）																
5	グループプレゼンテーション、全体討論（1）																
6	テーマの提示とグループ分け（2）																

授業内容	7	グループ内での調査（2）
	8	進捗状況の報告と意見交換（2）
	9	グループ内での調査（2）
	10	グループプレゼンテーション、全体討論（2）
	11	テーマの提示とグループ分け（3）
	12	グループ内での調査（3）
	13	進捗状況の報告と意見交換（3）
	14	グループ内での調査（3）
	15	グループプレゼンテーション、全体討論（3）
	16	報告レポート提出、総括
キーワード	医薬品、化学合成、天然物	
教科書・教材・参考書	授業中に適宜指定する。	
成績評価の方法・基準等	積極的授業参加態度（40％）、グループプレゼンテーションの発表内容および報告レポート（60％）	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	教養科目	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670050Q3	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(疾病と薬物治療)		
編集担当教員	塚元 和弘		
授業担当教員名(科目責任者)	塚元 和弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	塚元 和弘, 近藤 新二, 稲嶺 達夫		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-11		
対象学生（クラス等）	2・3・4年次		
担当教員Eメールアドレス	ktsuka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	薬学部2F 薬物治療学		
担当教員TEL	095-819-2447		
担当教員オフィスアワー	月～金 9:00～17:00		
授業のねらい	気管支喘息や肥満やうつ病について、疾患の概念や代表的な治療法（薬物治療法を含む）について学ぶ。特に、治療薬がどこに効いて、どのように改善することで、疾患が治るかを理解してもらう。		
授業方法（学習指導法）	KJ法を用いたグループ討論を中心に授業を進める。		
授業到達目標	興味のある課題を自分でみつけることができる。（技能・表現） 必要な情報を適切に収集し分析することができる。（技能・表現） 自分の意見を積極的に表現することができる。（技能・表現） 他者との意見交換を建設的に行うことができる。（技能・表現） 主体的な学習のための基礎知識を習得し、効果的に活用できる。（知識・理解） 学問の技法について理解を深める。（態度・志向性） 他人の価値観を寛容できる。（態度・志向性）		
授業内容	それぞれの疾患の概念や病態および治療法を学びながら、代表的な治療薬の作用部位や作用機序を知り、最終的に治癒していく仕組みを学ぶ。最後にパワーポイントを用いて学習成果をプレゼンテーションする。		
	回	内容	
	1	オリエンテーションとKJ法を知る（塚元）	
	2	気管支喘息の病態（塚元）	
	3	気管支喘息の治療（塚元）	
	4	交感神経と副交感神経の働き（塚元）	
	5	交感神経と副交感神経の異常による病態（塚元）	
	6	肥満の原因と病態生理（近藤）	
	7	肥満の診断と治療、予防（近藤）	

	8	肥満の合併症（近藤）
	9	肥満と社会（近藤）
	10	うつ病の種類と病態（稲嶺）
	11	うつ病の治療（稲嶺）
	12	うつ病との付き合い方（稲嶺）
	13	うつ病と社会生活（稲嶺）
	14	ディベート（塚元・近藤・稲嶺）
	15	プレゼンテーションと総括（塚元・近藤・稲嶺）
	16	
キーワード	気管支喘息 肥満 うつ病 治療薬 作用部位 作用機序	
教科書・教材・参考書	なし	
成績評価の方法・基準等	予習課題 30点, 授業参加 30点, 発表 20点, レポート 20点の計100満点中60点以上を合格とする。	
受講要件（履修条件）	6回以上の欠席は失格とする。	
本科目の位置づけ	教養教育	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	課題を与えるので必ず予習して来ること。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670050Q4	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(スポーツ医学)		
編集担当教員	安武 亨		
授業担当教員名(科目責任者)	安武 亨		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	安武 亨,尾崎 誠,鎌田 幸治,篠崎 彰子		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	toru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部・先端医育支援センター		
担当教員TEL	095-819-7987		
担当教員オフィスアワー	8:00-8:50 月、火、水		
授業のねらい	スポーツの側面より医学を学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	講義・グループワーク		
授業到達目標	医学の側面よりスポーツの種々の事項を説明できる。 スポーツパフォーマンスを向上させることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	スポーツ栄養学（1）	
	3	スポーツ栄養学（2）	
	4	スポーツ栄養学（3）	
	5	スポーツ外傷総論	
	6	ストレッチ	
	7	筋力トレーニング	
	8	スポーツ外傷各論	
	9	スポーツリハビリテーション	
	10	歯とスポーツ	
	11	メンタルトレーニング、小テスト	
	12	グループワーク：スポーツ医学の興味と疑問	
	13	グループワーク：スポーツ医学 わかっていること知らないこと	
14	グループワーク：スポーツ医学 わかっていないことを知るために		

	15 全体討論
	16
キーワード	スポーツ、医学、栄養、外傷、トレーニング、歯
教科書・教材・参考書	1. スポーツ医学研修ハンドブック基礎科目 第2版 文光堂 2. スポーツ医学研修ハンドブック応用科目 第2版 文光堂
成績評価の方法・基準等	小テスト（20点）。授業への参加状況（50点）。グループ発表（30点）。
受講要件（履修条件）	積極的に授業に参加すること。時間外グループワークができること。
本科目の位置づけ	解剖学、生理学、栄養学などモジュールⅠ科目を基本とした授業内容となる。
学習・教育目標	本科目を通じて、チームワークを学ぶとともに、問題抽出・解決能力を養う。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670050Q5	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(老いと健康)		
編集担当教員	井口 茂		
授業担当教員名(科目責任者)	井口 茂		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井口 茂,横尾 誠一,田中 浩二		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	2年次		
担当教員Eメールアドレス	shigeru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科3階		
担当教員TEL	095-819-7962		
担当教員オフィスアワー	火曜日 18:00～19:30		
授業のねらい	高齢者の加齢に伴う身体・心理的变化、環境への適応能力など生理的及び社会的変化を学び、高齢者に対するケアのあり方について議論していく。		
授業方法（学習指導法）	PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびに演習、ケアの現場見学、グループワーク、プレゼンテーション、討論を通じて自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の変化を理解する。 ・高齢者の社会的背景を理解する。 ・高齢者に対する希有の現象を理解する。 		
授業内容	第1回 ガイダンス（本科目の進め方についての説明） 第2回 加齢に伴う変化と健康①（井口・横尾・田中） 第3回 加齢に伴う変化と健康②（井口・横尾・田中） 第4回 加齢に伴う変化と健康③（井口・横尾・田中） 第5回 高齢者の心理①（井口・横尾・田中） 第6回 高齢者の心理②（井口・横尾・田中） 第7回 高齢者の心理③（井口・横尾・田中） 第8回 高齢者を支える社会の仕組み（井口・ゲストスピーカー） 第9回 介護保険の仕組み①(井口・ゲストスピーカー) 第10回 介護保険の仕組み②(井口・ゲストスピーカー) 第11回 高齢者の実践活動を学ぶ①（演習及びグループワーク） 第12回 高齢者の実践活動を学ぶ①（演習及びグループワーク） 第13回 高齢者の実践活動を学ぶ①（演習及びグループワーク） 第14回 高齢者の実践活動を学ぶ①（グループワーク及びプレゼンテーション、討論） 第15回 レポート提出、まとめ ※まだ、本科目は計画の段階にあるため、内容や進め方など変更する場合がある。		
キーワード	高齢者、健康、ケア、介護保険、住民活動		
教科書・教材・参考書	特になし・必要に応じて資料を配付する		

成績評価の方法・基準等	試験（50%）、レポート及びプレゼンテーションにおける発表（40%）、授業への貢献度（10%）
受講要件（履修条件）	特になし
本科目の位置づけ	全学モジュール教育
学習・教育目標	高齢者自身が実践されている地域活動に触れ、話を聞くことでコミュニケーション能力、対人関係の取り方を経験することも目標とする。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670070Q1	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(感染症と文明)		
編集担当教員	山本 太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山本 太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山本 太郎		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	y-taro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	熱帯医学研究所 206号室		
担当教員TEL	095-819-7869		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会と疾病について考える。 2. 地球と生命の共進化について考える 		
授業方法（学習指導法）	講義、演習、課題発表を組み合わせで行う。		
授業到達目標	授業のねらいについて、自分で考える力を養う。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	分子生物学	
	3	分子進化と感染症	
	4	宿主適応と免疫応答	
	5	史実関連	
	6	感染症との闘い	
	7	現代の感染症	
	8	社会と感染症対策	
	9	社会と感染症対策	
	10	社会と感染症対策	
	11	トピックス（1）	
	12	トピックス（2）	
13	トピックス（3）		

	14	課題発表（1）
	15	課題発表（2）
	16	
キーワード	疾病、社会、地球との共進化、歴史、環境	
教科書・教材・参考書	<ol style="list-style-type: none"> 山本太郎. 『感染症と文明－共生への道』（岩波新書） 山本太郎. 『新型インフルエンザ 世界がふるえる日』（岩波新書） 山本太郎. 『ハイチ いのちとの闘い』（昭和堂） ヨハン・ギセック著. 山本太郎訳. 『感染症疫学』（昭和堂） 	
成績評価の方法・基準等	<ol style="list-style-type: none"> 課題発表点 授業参加 	
受講要件（履修条件）	分離融合的、学際的学問分野に興味のある学生	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	分離融合的、学際的学問分野への興味を喚起する	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670070Q2	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(環境と社会運動)		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清,保坂 稔		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	教育、経済、薬学、水産 2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室、同環427保坂教員室		
担当教員TEL	戸田095-819-2726 保坂095-819-2728		
担当教員オフィスアワー	戸田月曜15-17時 保坂木曜9時30分-10時30分		
授業のねらい	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。		
授業方法（学習指導法）	教科書、プリント、映像などを用いて授業を行なう。積極的な質問や発言を期待したい。		
授業到達目標	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる。環境問題における企業、行政、専門家、市民の役割を説明できるようになることも目指す。		
授業内容	前半の7回（保坂）は環境問題の分析について環境社会学的な見方を深める。後半の7回（戸田）は具体的な事例を通じて環境社会学を学ぶ。15回目はまとめ、16回目は定期試験です。		
	回	内容	
	1	社会運動分析 環境社会学への誘い	
	2	社会運動論 緑の党	
	3	エコファシズム	
	4	公共圏	
	5	リスク社会論	
	6	社会的ジレンマ論	
	7	計量的な社会意識調査	
	8	水俣病 公害・環境問題の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか	
	9	水俣病その2	
	10	カネミ油症 40年かかってわずかな前進	
	11	じん肺と石綿 職業病から公害病へ	
12	原発事故と原発被曝労働		

	13	戦争と環境破壊 ベトナム枯葉剤と劣化ウラン弾
	14	遺伝子組み換え作物とグローバル経済
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	水俣病、カネミ油症、原発事故、受益圏と受苦圏、公共圏、リスク社会、社会的ジレンマ、オルタナティブ運動	
教科書・教材・参考書	教科書は戸田清『環境正義と平和』法律文化社2009年。参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像資料の視聴を適宜行なう。	
成績評価の方法・基準等	定期試験80%、レポート20%	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	環境社会学の考え方を学ぶ。	
備考（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
備考（準備学習等）	教科書を通読する。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670070Q3	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(世界人口の動向と国際開発)		
編集担当教員	松村 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	松村 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松村 真樹		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	masaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター 2階		
担当教員TEL	095-819-2253		
担当教員オフィスアワー	木曜17:00～18:00, 又はメールによるアポイントメント		
授業のねらい	日本や欧州のみならず、アジア諸国においても急速な少子高齢化が進む昨今であるが、その一方で、高い人口増加率が依然として続いている開発途上国もある。人口動態を見ることによって、世界の多様性が見えてくる。同時に、過剰都市化、環境問題、児童労働、格差社会と貧困層、そして少子高齢化など、様々な課題も浮き彫りになる。この授業では、人口学的視点から国際社会の変化と多様性について理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	講義と演習形式のグループワークによって、人口学の基礎概念や人口統計・指標について学びながら、実際の国や地域の人口動態を把握する方法を習得する。		
授業到達目標	1) 死亡、出生、移動に関する人口データの意味を読み取ることができる。 2) 人口転換論について、また先進国と途上国の人口転換の違いについて説明することができる。 3) 人口動態に影響を与える要因について、社会・経済・文化的背景に関連付けて説明することができる。		
	世界人口の動向を理解するために欠かせない、人口転換、人口構造、出生率、死亡率、人口移動などの基本概念や指標について学ぶ。さらに、それらを使って世界人口の現状を説明する能力を養う。また、変化する人口動態の背景にある社会・経済・文化的要因について考察する。		
	回	内容	
	1	人口を知ると何がわかるか？	
	2	さまざまな指標で見る世界人口の現状	
	3	人口構造の国際比較	

授業内容	4	人口転換論	
	5	死亡率低下の歴史的推移と地域格差	
	6	生命表の見方と平均寿命について	
	7	出生に関する指標と規定要因	
	8	出生率をめぐる先進国と途上国における諸問題	
	9	人口移動と都市化	
	10	国際人口移動と外国人労働者	
	11	少子高齢化	
	12	人口増加と経済発展の関係について	
	13	人口増加と環境・資源	
	14	各国の人口政策	
	15	まとめ	
	16	期末試験	
	キーワード	Population, Development, Demographic Transition	
	教科書・教材・参考書	人口統計資料のコピーを配布します。 以下は入手が簡単な参考書です。 河野稠果 『人口学への招待—少子・高齢化はどこまで解明されたか』 (2007, 中公新書) 大泉啓一郎 『老いてゆくアジア—繁栄の構図が変わるとき』 (2007, 中公新書)	
	成績評価の方法・基準等	グループワーク (30%) クイズ (20%) 期末試験 (30%) カントリー・プロフィール・レポート (20%)	
受講要件 (履修条件)	グループワークに積極的に参加する学生が望ましい		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標	人口統計で示される様々な数値を使って世界各国の現状や先進国と途上国の違いを説明するための Demographic Literacy を習得する。		
備考 (URL)			
備考 (準備学習等)	外国のニュースを見たり, 英字雑誌・新聞を読むなど, 日ごろから海外事情に興味を持つようにしましょう。		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670070Q4	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(障害体験と支援)		
編集担当教員	東 登志夫		
授業担当教員名(科目責任者)	東 登志夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	東 登志夫, 中尾 理恵子, 杉山 和一, 北島 栄二		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	higashi-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科5階		
担当教員TEL	095-819-7996		
担当教員オフィスアワー	水曜日18:00-19:00		
授業のねらい	各種障害の疑似体験や、斜面地視察等を通して、障害を理解するとともに、その支援の必要性について考察する。		
授業方法（学習指導法）	講義，演習，現場視察		
授業到達目標	各種障害について理解する。また、障害に対する支援の必要性及びその具体的方法について理解する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	各種障害についての概論（講義）	
	3	車椅子・高齢者・視覚障害体験（演習）①	
	4	車椅子・高齢者・視覚障害体験（演習）②	
	5	車椅子・高齢者・視覚障害体験（演習）③	
	6	車椅子・高齢者・視覚障害体験（ディスカッション）④	
	7	生活の中でのバリア	
	8	斜面地視察①	
	9	斜面地視察②	
	10	斜面地視察③	
	11	長崎市の斜面市街地開発	
	12	斜面市街地の外出支援	
	13	斜面市街地と福祉用具	

	14	住宅改修
	15	各種障害への支援のあり方
	16	まとめとディスカッション
キーワード	障害, 車椅子, 高齢者, 斜面地, 支援	
教科書・教材・参考書	適宜プリント等を配布	
成績評価の方法・基準等	レポート70%, 授業への積極的な取り組み20%, ディスカッション10%	
受講要件 (履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670070Q5	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(身のまわりの科学)		
編集担当教員	藤木 卓		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 卓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 卓		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	t-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	藤木研究室		
担当教員TEL	095-819-2363		
担当教員オフィスアワー	昼休み		
授業のねらい	身のまわりの科学として、人そのものの技能や感覚の定量化を取り上げ、計りにくいものを計るための工夫に気づかせるのが、ねらいである。		
授業方法（学習指導法）	演習，調べ学習，グループ討議等を含む実践的な学習方法を用いる		
授業到達目標	人の技能や感覚として処理されがちな事例を、どのように定量化すると意図する結果が得られるかという視点から、提示されるいくつかの事例の定量化の方法を理解し、新たな事例に対する適切な定量化の方策を考えることができる。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 人の技能の評価1（ハサミでの切り抜き） 3. 人の技能の評価2 4. 人の感覚の評価1（近付き感） 5. 人の感覚の評価2 6. 人の感覚の評価3（画質） 7. 人の感覚の評価4 8. 現実感の評価1（VR） 9. 現実感の評価2 10. 授業メディアの評価1（チャットと通常） 11. 授業メディアの評価2 12. 授業メディアの評価3（TV会議） 13. 授業メディアの評価4 14. 人の技能や感覚の評価 15. まとめ 		
キーワード	技能，感覚，定量化		
教科書・教材・参考書	特に，教科書等は指定しない。 必要な資料等は，授業時に配布する。		

成績評価の方法・基準等	授業中に行う発表や、課題レポート等の結果を総合的に判断して評価する。 合格の基準は、総合点で60点以上である。
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	全学モジュールの、「教育と社会」をテーマとするモジュールIIの中の科目である。
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670070Q6	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(環境思想)		
編集担当教員	佐久間 正		
授業担当教員名(科目責任者)	佐久間 正		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	佐久間 正		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	sakuma@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階		
担当教員TEL	819-2731		
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業のねらい	環境問題をめぐる思想的論点を理解すると共に環境倫理に関する基本的知識を習得する。授業で取り上げられた思想家の思想を参考にして、環境問題の淵源やその解決方向さらには環境をめぐると根本的な問題について、原理的な場面に立ち返って考察を進める思考力を養う。		
授業方法（学習指導法）	基本的知識を習得する講義を主に、基本的知識を自らのものとし思考力を養い討議・発表する力を養うグループワーク（討論と報告）を適宜交える。		
授業到達目標	環境問題をめぐる思想的論点を理解し、環境倫理に関する基本的知識を習得している。環境問題の淵源やその解決方向さらには環境をめぐると根本的な問題について、原理的な場面に立ち返って考察を進めることの重要性を理解している。		
授業内容	回	内容	
	1	環境問題の解決方向と環境をめぐると思想的論点	
	2	環境と倫理（1） 未来世代への責任	
	3	環境と倫理（2） 人間と動物	
	4	環境と倫理（3） 自然の根源性、生物の保全、人間の尊厳	
	5	環境思想の歴史（1） 『沈黙の春』の衝撃、「土地倫理」の再発見	
	6	環境思想の歴史（2） キリスト教的世界観と人間中心主義の批判	
	7	環境思想の歴史（3） 近代思想の問題点・1	
	8	環境思想の歴史（4） 近代思想の問題点・2	
	9	環境思想の歴史（5） 仏教の環境思想	
	10	環境思想の歴史（6） 儒教の環境思想	
11	日本の環境思想（1）		

	12 日本 の 環境思想（2）
	13 賢治とみずゝを読む（1）
	14 賢治とみずゝを読む（2）
	15 環境問題を超えて
	16 定期試験
キーワード	環境倫理、環境哲学、人間中心主義と自然中心主義、ホリズム
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、配付資料に基づいて授業を進める。参考書は適宜紹介する。
成績評価の方法・基準等	授業への参加態度（20～50%）及び定期試験の成績（50～80%）を総合的に判断して評価する。
受講要件（履修条件）	特になし。
本科目の位置づけ	本科目は全学モジュール科目「環境問題を考える」のモジュールIIの科目である。
学習・教育目標	環境の意義及び環境問題に関する基本的知識を踏まえ、環境問題を批判的に考察することができ、環境をめぐって原理的に思考することができる。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	下記の文献は座右に備え授業開始前に読了しておくことが望ましい。加藤尚武編『環境と倫理 新版』（2005、有斐閣）、加藤尚武『環境倫理学のすすめ』（1991、丸善ライブラリ）、同『新・環境倫理学のすすめ』（2005、同上）、レイチェル・カーソン『沈黙の春』（原著は1962刊、新潮文庫）。



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670090Q1	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(幹細胞と再生医療)		
編集担当教員	李 桃生		
授業担当教員名(科目責任者)	李 桃生		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	李 桃生,田口 潤,堺 裕輔,虎島 泰洋		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	litaoshe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原爆後障害研究施設 幹細胞生物学		
担当教員TEL	095-819-7099		
担当教員オフィスアワー	9:00am~5:30pm		
授業のねらい	幹細胞と再生医療の知識を習得すると共に、医療、健康、生命になど一般的な社会問題に対する関心を深める。		
授業方法（学習指導法）	講義、グループ勉強・発表会		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幹細胞の一般的概念を知り、幹細胞研究の最新情報と動向を把握できる。 2. 再生医療の一般的概念を知り、幹細胞を使った再生医療の臨床応用の現状と将来への展望を理解できる。 3. 幹細胞研究と応用の問題点を知り、特に倫理的問題点について各自の考えを基づき議論できる。 		
授業内容	第1回（4月5日）：ガイダンス、幹細胞の基礎知識（李） 第2回（4月12日）：体性幹細胞について（李） 第3回（4月19日）：胚性幹細胞について（李） 第4回（4月26日）：iPS細胞について（李） 第5回（5月10日）：クローン技術について（李） 第6回（5月17日）：グループ学習と討論（幹細胞研究の倫理問題について）（李） 第7回（5月24日）：再生と再生医療の基礎知識（李） 第8回（5月31日）：造血幹細胞と再生医療（1）（田口） 第9回（6月7日）：造血幹細胞と再生医療（2）（田口） 第10回（6月14日）：肝臓・膵臓の再生医療（堺） 第11回（6月21日）：消化管の再生医療（虎島） 第12回（6月28日）：心臓・血管の再生医療（李） 第13回（7月5日）：脳・神経の再生医療（李） 第14回（7月12日）：その他の領域の再生医療（李） 第15回（7月19日）：学生発表と総合討論、試験（李）		
キーワード	幹細胞、再生医療		
教科書・教材・参考書			

成績評価の方法・基準等	出席点 20 発表点 30 課題レポート点 20 期末試験 30
受講要件（履修条件）	幹細胞と再生医療に対して興味があり、勉強する意欲のあること
本科目の位置づけ	最新医学を理解する
学習・教育目標	自主的に学び、理解に必要な知識の習得に努める
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670090Q2	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(老化と死)		
編集担当教員	池松 和哉		
授業担当教員名(科目責任者)	池松 和哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池松 和哉, 益富 美津代, 田崎 修, 前田 隆浩		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	shimo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部医学科病理学第一		
担当教員TEL	095-819-7051		
担当教員オフィスアワー	月曜日、午後5時から6時		
授業のねらい	ヒトの死、死に至る過程、老化、医療について多面的に考えるための素材を各講師が講義する。 。学生は、死の多面性について考え、議論し、最終的にレポートを作成する。		
授業方法（学習指導法）	講義、議論、レポート作成。		
授業到達目標	ヒトの老化や死の多面性について理解する。		
授業内容	回	内容	
	1	9月30日 老化と死：イントロダクション 池松和哉（下川功：医学部病理学）	
	2	10月7日 老化の生物学的基盤 池松和哉（下川功：医学部病理学）	
	3	10月21日 寿命遺伝子 池松和哉（下川功：医学部病理学）	
	4	10月28日 脳の老化と疾患 池松和哉（中嶋秀樹：医学部神経内科）	
	5	11月11日 高齢化社会と地域医療 前田隆浩（医学部地域医療学）	
	6	11月18日 高齢化社会と地域医療 前田隆浩（医学部地域医療学）	
	7	11月25日 高齢者のリハビリテーション 池松和哉（小関弘展：医学部整形外科、医療法人和仁会）	
	8	12月2日 ホスピス 益富美津代（聖フランシスコ病院）	

	9	12月9日 ホスピス 益富美津代（聖フランシスコ病院）
	10	12月16日 救命救急からみたヒトの生と死：救命センターには多くの重症患者が搬送され高度な治療が施されるが、一部の症例は救命できない。重症患者の背景や概要、救命に向けた社会や病院の取り組みについて紹介したい。 田崎 修（医学部救命救急センター）
	11	1月6日 重症患者は時に「脳死」という状態に陥る。脳死患者には臓器移植という選択肢が残る。臓器移植を提供側の救急医の視点から概説する。 田崎 修（医学部救命救急センター）
	12	1月20日 人の死とは？ 池松和哉（医学部法医学）
	13	1月21日 脳死とは？ 池松和哉（医学部法医学）
	14	1月27日 病死と外因死 池松和哉（医学部法医学）
	15	2月3日 自殺について考えてみよう 池松和哉（医学部法医学）
	16	
キーワード	老化、死	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	講義への出席と議論への参加、レポートによる総合評価	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	医療系、生命科学系学生のための入門科目。一般学生のための教養科目。	
学習・教育目標	ヒトの老化や死の多面性について考える機会を作る。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670090Q3	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(性と命(いのち))		
編集担当教員	三浦 清徳		
授業担当教員名(科目責任者)	三浦 清徳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	三浦 清徳, 井上 統夫, 吉田 敦		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生(クラス等)	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	大学病院産婦人科医局		
担当教員TEL	095-819-7363		
担当教員オフィスアワー	9時-17時30分		
授業のねらい	<p>母親の卵子と父親の精子とが受精し、受精胚になる。受精胚は細胞分裂を繰り返しながら、子宮内膜に着床することで妊娠が成立する。その後、ヒトは胎芽期から胎児期までを母親の子宮内で過ごすことになる。出生後は、新生児期、幼児期、思春期を経て、生殖年齢に達すると次の世代を生み出す。そして、大人へと成長したヒトは、更年期から老年期を過ぎのちに生命の終焉を迎える。これはヒトの生命の誕生から死に至る過程であるが、医療の現場では生殖補助技術の発達と共に様々な生殖の可能性が恩恵と共に様々な問題が生じている。例えば、体外受精により、不妊症で従来の治療では自然妊娠できないヒトも妊娠することが可能になった。また、新たな生命は生殖細胞の受精による受精胚から誕生するものであったが、クローン技術の発達により、体細胞から生命が誕生しうる時代へと突入している。一方、生殖を男性と女性という性の視点から考えてみると、性同一性障害などの問題も明らかになっている。本講義では、生殖の視点を通じて、生命の発生から死に至る過程と医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について紹介する。本講義を通じていのちの意義について理解を深めて頂きたい</p>		
授業方法(学習指導法)	講義(60分)・小テストあるいはレポート(30分)		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生命の発生から死に至る過程を理解する。 2) 生殖医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について理解する。 3) 生命(いのち)の意義について理解を深める。 		
	回	内容	
	1	いのちのおこり	
	2	オスとしての男	
	3	メスとしての女	
	4	性の共同作業	
	5	SexとGender	
	6	性の帰結	

授業内容	7	創られた妊娠
	8	輪廻とクローン
	9	胎児という生き物
	10	生まれる！
	11	性の調節
	12	ただひとつの生命
	13	家族のきずな
	14	性の終焉
	15	いのちの行方
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	なし	
成績評価の方法・基準等	全回小テストあるいはレポートを実施して評価する（100点）。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670090Q4	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(審美)		
編集担当教員	渡邊 郁哉		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 郁哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 郁哉, 井川 惺亮, 平野 明喜, 田上 直美, 池田 毅		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬学総合研究科生体材料学分野		
担当教員TEL	095-819-7656		
担当教員オフィスアワー	15:00 - 17:00		
授業のねらい	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。		
授業方法（学習指導法）	学生参加型授業		
授業到達目標	医療を含め、審美について理解を深める。		
授業内容	回	内容	
	1	美とは何か	
	2	美の歴史(1)	
	3	美の歴史(2)	
	4	美の表現(1)	
	5	美の表現(2)	
	6	顔面の形態異常	
	7	審美材料(1)	
	8	審美材料(2)	
	9	審美材料(3)	
	10	審美修復(1)	
	11	審美修復(2)	
	12	審美修復(3)	
	13	ホワイトニング(1)	
14	ホワイトニング(2)		

	15	ホワイトニング(3)
	16	
キーワード	美の歴史、美の表現、審美	
教科書・教材・参考書	配布資料	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションやレポートの提出および試験を考えてますが、受講者数によります。	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ	美へのこだわりのための推進力となる	
学習・教育目標	美と健康についての情報を広く提供し、健康の増進を図るための必要な知識を習得する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670090Q5	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(脳とことば)		
編集担当教員	橋本 健夫		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 健夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 健夫, 橋本 優花里		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	hasimoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部335号室		
担当教員TEL	095-819-2338,090-2587-5670		
担当教員オフィスアワー	お昼の時間（12：00-12：50）予め在室を確かめてください。		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ ことばを制御する脳の構造を学ぶ ・ 種々の脳の機能不全がことばの産出や理解に及ぼす影響の違いについて知る。 ・ ことばの問題を克服するための手段について学ぶ 		
授業方法（学習指導法）	土・日曜日を利用した集中講義形式で行います。講義を中心に行いますが、講義に関連した実験やグループワークやグループディスカッションを随時取り入れていきます。また、障害様相を把握するため、視覚教材の視聴も行ないます。各授業終了時には、質問や感想を書くためのコミュニケーションカードの記入を求めます。コミュニケーションカードは、次回の授業での振り返りや皆さんの授業の理解度の確認に利用します。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 脳とことばの関係を理解できる。 ② 脳の機能不全によることばに関連した障害様相について理解できる。 ③ コミュニケーションを獲得するためのリハビリテーションや訓練について理解する。 ④ 障害と健常の垣根を越えて、授業で学んだことをよりよいコミュニケーションを目指した実生活に生かすことが出来る。 		
	回	内容	
	1	オリエンテーション ことばのない世界を体験する	
	2	ことばの理解に必要な器官を考えよう	
	3	脳の特性について知ろう	
	4	脳の構造について知ろう	
	5	脳の発達とことばの発達—幼児期	
	6	脳の発達とことばの発達—児童期以降	
	7	障害について考える	

授業内容	8	脳を損傷すること—高次脳機能障害とは
	9	左右半球機能差と脳梁離断症候群について学ぶ
	10	失語症, 失書, 失読について学ぶ
	11	認知症とことば
	12	発達障害・脳性麻痺とことば
	13	コミュニケーションを(再)獲得するために—リハビリテーション
	14	コミュニケーションを(再)獲得するために—グループ訓練
	15	コミュニケーションを(再)獲得するために—アルテクの利用
	16	試験
キーワード	ことば, 脳損傷, 認知	
教科書・教材・参考書	教科書は指定しません。講義内容に即した資料を事前に配布します。授業で紹介する障害の様相をより詳しく理解するため, 視聴覚教材を利用します。	
成績評価の方法・基準等	授業時のグループワークやグループディスカッションの成果物(20%), 予習復習を含むクイズ(30%), コミュニケーションカードの提出を含む, 授業への積極的な参加・貢献度(20%), および定期試験(30%), から総合的に判断して成績評価を行います。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201305670090Q6	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(生体分子の構造と機能)		
編集担当教員	畠山 智充		
授業担当教員名(科目責任者)	畠山 智充		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	畠山 智充, 田中 修司, 郷田 秀一郎		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	畠山智充：thata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部1号館生体機能工学実験室3-2		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	随時（できるだけ前もってメールで問い合わせること）		
授業のねらい	生命を理解するためには生物を構成する様々な生体分子の構造とそれらの間の相互作用を理解する必要がある。この講義では、生命活動の基本となる生体分子の構造と機能を理解するとともに、それらの相互作用がどのように生命活動に重要な役割を果たしているかについて学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	講義形式で行うが、口頭による質疑応答をできる限り取り入れ、重要な事項についての理解を深めるための補助とするとともに理解の到達度を確認する。		
授業到達目標	生体の主要成分（タンパク質、核酸、糖、脂質）の特性および機能を理解し、説明できる。		
授業内容	<p>生体を構成する物質には、タンパク質、核酸、糖、脂質などがあり、それらの相互作用によって生命活動が成り立っている。なかでもタンパク質と核酸（DNA・RNA）は生命活動の最も中心的な役割を担っていることから、タンパク質と核酸を中心として生体分子の構造と機能について講義を行う。</p> <p>第1回 生命科学の基礎 第2回 生体を構成している物質（アミノ酸とタンパク質） 第3回 生体を構成している物質（糖質・脂質） 第4回 生体を構成している物質（核酸） 第5回 タンパク質の構造と機能（タンパク質の構造） 第6回 タンパク質の構造と機能（タンパク質の機能） 第7回 細胞内のエネルギー代謝 第8回 遺伝情報の流れ（DNAの複製） 第9回 遺伝情報の流れ（転写と翻訳） 第10回 細胞の増殖（細胞周期） 第11回 細胞の増殖（発生・分化） 第12回 細胞の様々な機能（細胞情報伝達） 第13回 細胞の様々な機能（生体防御と免疫） 第14回 生物の進化と多様性 第15回 全授業の総括（試験を含む）</p>		

キーワード	タンパク質, 遺伝子, バイオテクノロジー
教科書・教材・参考書	「はじめて学ぶ 生命科学の基礎」 畠山智充・小田達也（編著） 化学同人
成績評価の方法・基準等	期末試験(80%), レポートおよび授業における積極的取り組み状況(20%)を考慮して成績評価を行う。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

